

第1-21表 時間当たり労働生産性上昇率

Table 1-21: Labour productivity (GDP per hour worked), annual growth rates (%)

		2000年	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015
日本	JPN	2.4	1.3	4.0	0.0	0.7	1.4	-0.4	* 0.1
アメリカ	USA	2.8	2.0	2.8	0.2	0.2	0.2	0.2	0.6
カナダ	CAN	3.0	2.4	1.1	1.7	-0.1	1.4	2.2	-0.2
イギリス	GBR	3.3	0.8	2.4	0.2	-0.7	0.1	0.3	1.5
ドイツ	DEU	2.5	1.5	2.5	2.1	0.6	0.8	0.4	0.8
フランス	FRA	3.7	1.3	1.5	1.1	0.3	1.5	0.8	0.5
イタリア	ITA	2.8	0.6	2.2	0.5	-0.3	0.9	0.2	-0.2
オランダ	NLD	3.3	2.5	2.1	0.7	-0.2	0.7	0.9	1.5
ベルギー	BEL	0.8	1.1	2.2	-0.5	-0.3	0.4	1.4	0.9
デンマーク	DNK	2.3	1.4	3.9	0.3	1.9	0.8	1.5	0.5
スウェーデン	SWE	3.6	2.6	3.3	0.7	-0.1	0.9	1.1	2.4
フィンランド	FIN	4.3	1.8	3.3	1.6	-1.6	0.6	-0.0	0.3
ノルウェー	NOR	3.9	1.0	0.5	-0.8	0.8	0.7	0.5	1.3
スペイン	ESP	0.5	0.4	2.3	1.4	2.1	1.5	0.3	0.7
韓国	KOR	3.8	4.3	7.2	6.6	-2.9	5.4	-0.9	1.7
オーストラリア	AUS	1.7	0.7	-0.2	2.0	* 2.2	* 1.9	* 1.5	* 1.0
ニュージーランド	NZL	2.9	-0.1	-1.1	1.9	3.9	-2.2	-0.7	* 1.1

資料出所 OECD Database (<http://stats.oecd.org/>) 2017年1月現在

(注) OECD Databaseでは、労働生産性を就業1時間当たりの国内総生産(GDP)と定義している。就業1時間当たりGDPは、GDP総額を就業者の年間総労働時間で除した数値である。本表は、就業1時間当たりGDPの対前年上昇率をあらわしている。*印は推計値。